

セッション名：シンポジウム11

タイトル：トランスジェンダーのヘルスケア:プライマリ・ケアでの実践を考える

役割：企画責任者

開催日時：6月8日（土） 10:20～11:50

会場：第7会場（コンgresセンター43会議室）

トランスジェンダーの医療アクセスを 改善させるためにできること

一般社団法人 にじいろドクターズ
東京慈恵会医科大学 臨床疫学研究部
金久保 祐介

自己紹介

- 金久保祐介（かなくぼゆうすけ）
- 茨城県出身
- 2015年 東京大学卒
- 亀田ファミリークリニック館山にて
初期研修・家庭医療専門研修
- 2021年（一社）にじいろドクターズ
- 2021年 東京慈恵会医科大学 大学院
- 家庭医療専門医・指導医
- LGBTQの健康増進に関連した研究

<https://www.nijiroidoctors.com>



トランスジェンダーの受療経験

来院前



トランスジェンダーの受療経験

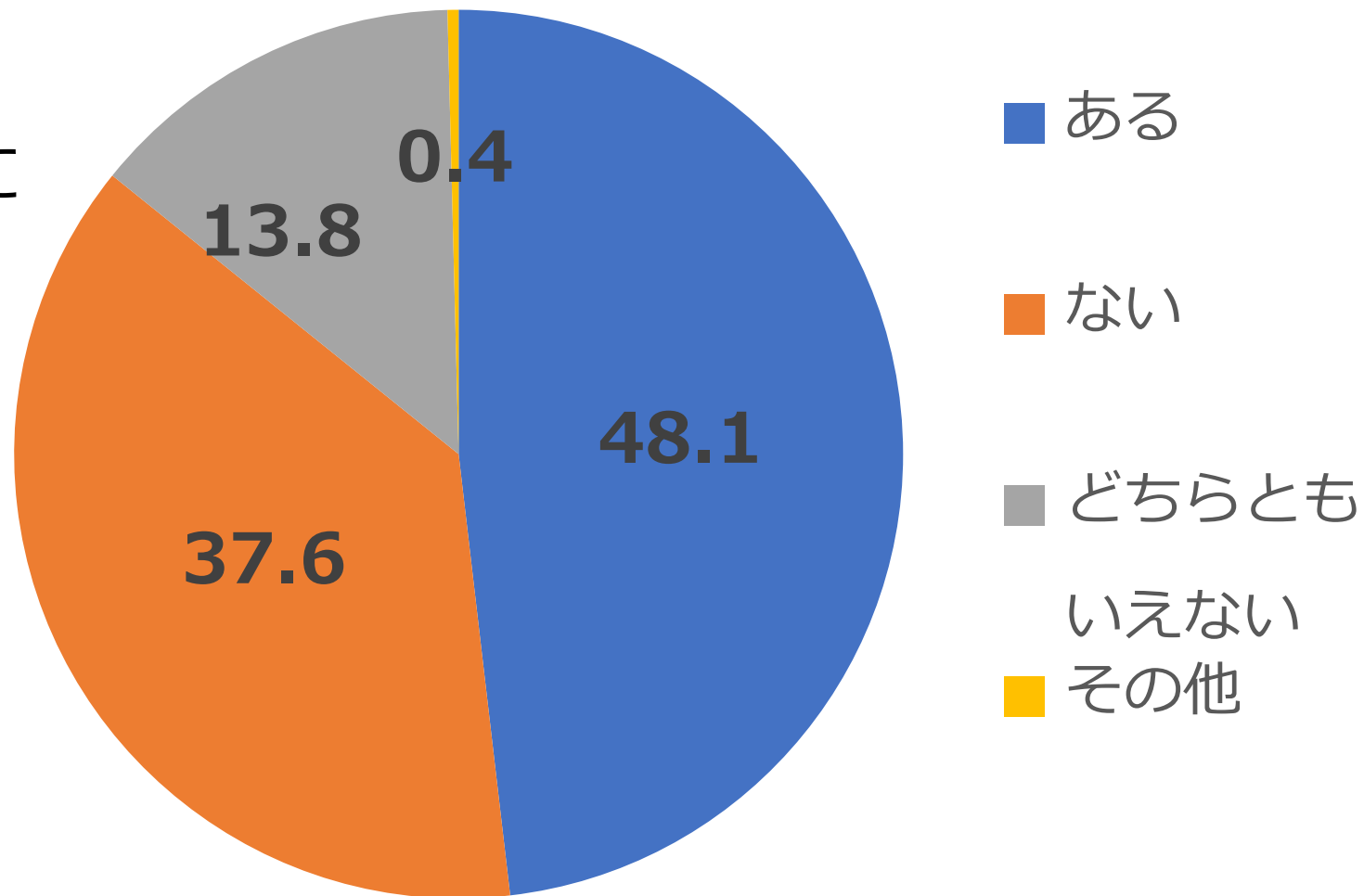
- 「医療機関の受付で戸籍上の名前が呼ばれるため、
受診しづらくなった」
- 「男女分けされた共同病室に、性自認に沿って入院できない」

トランスジェンダーの受療経験

- 「ホルモン療法をしてくれる病院が見つからず、インターネットで個人輸入した薬を飲んだところ、副作用が出てしまった」
- 「相談できる医療機関が身近にないため、遠方の病院に夜行バスで通院しているが、貯金が底をつき、途中で受診を断念せざるを得なかった」

トランスジェンダーの受療経験

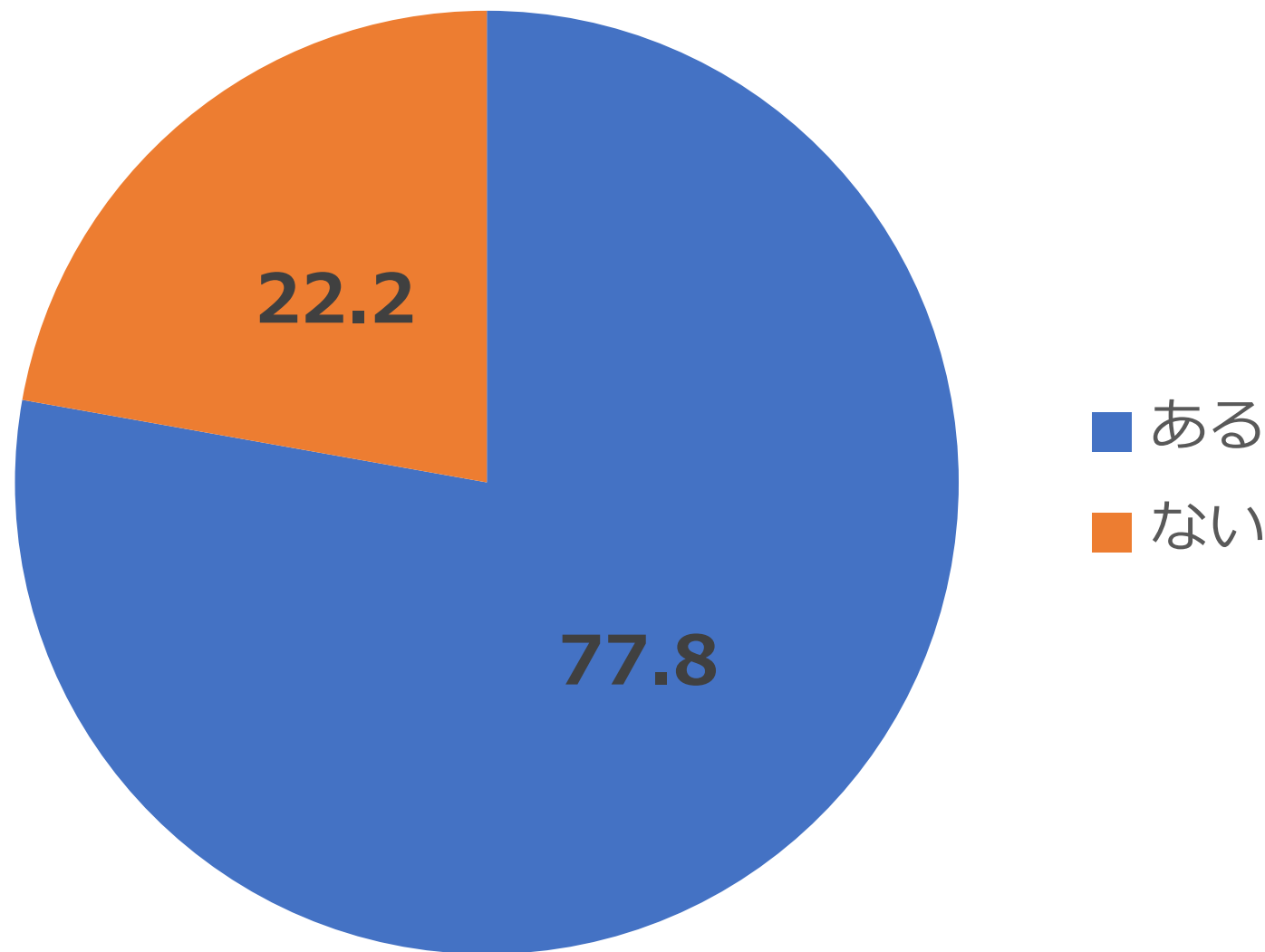
- 風邪、けが、体調不良時に医療機関の受診をためらったことがあるか (n=484)



金子典代, 他. GID/GD/トランスジェンダー当事者の医療アクセスの現状. TRanS & 名古屋市立大学看護学研究科国際保健看護学.

トランスジェンダーの受療経験

- 医療サービス利用時の
セクシュアリティに関する
困難経験
(n=135)

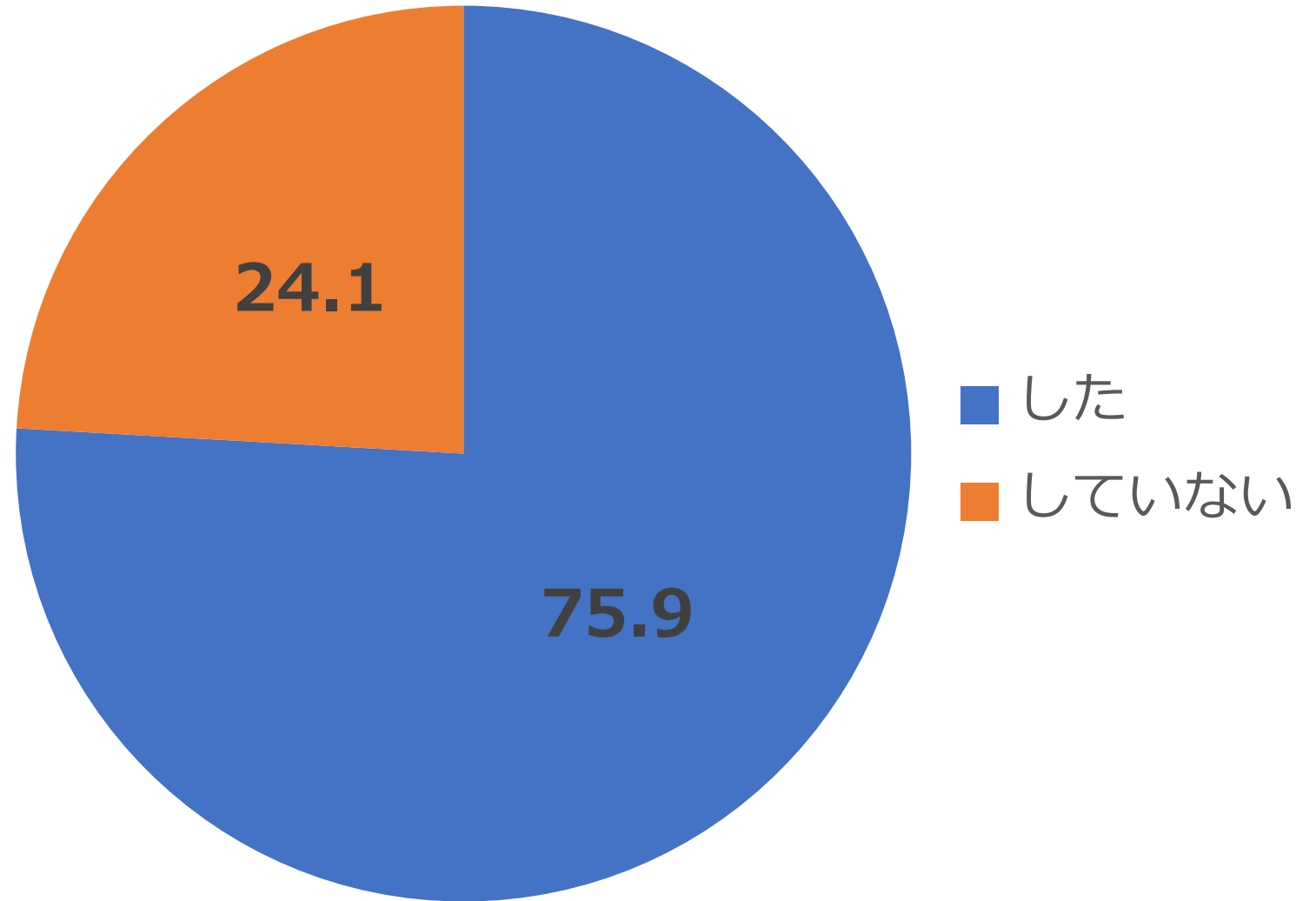


トランスジェンダーの受療経験

- 医療サービス利用時の困難が深刻化したか
(n=112)

例)

- 42.0%が心身体調が悪くても病院に行かなかった/行かないようにした。
- 25.9%が自殺を考えた、自殺未遂をした。



トランスジェンダーの受療経験

- 現在ホルモン療法を受けている（68.2%, n=484）
- 現在使用しているホルモン剤の形態
注射（87.0%）、飲み薬（16.7%）、
貼り薬（3.0%）、その他（6.1%） ジェル、塗り薬など
- 使用しているホルモン剤の入手方法
医療機関からの処方（90.9%）、個人輸入（12.7%）

トランスジェンダーの受療経験

- 現在ホルモン療法を受けている (68.2%, n=484)
- 現在治療を受けていない理由(n=103)
 - お金がないから (49.5%)
 - 特に必要だと思わない (思わなくなった) から (35.9%)
 - 時間がないから (26.2%)
 - 医療者の対応が嫌だから (11.7%)

日本におけるLGBTQに関する教育の不足

- 医学部の**47.2%**が卒前の臨床教育でLGBTQについて教えていない

Yoshida E, et al. Cross-sectional survey of education on LGBT content in medical schools in Japan. BMJ Open. 2022; 12(5):e057573

<https://bmjopen.bmj.com/content/12/5/e057573>

- 看護師の**約80%**が看護基礎教育で学んだことがない

Kanda K, et al. A Survey of Nurses' Consciousness Concerning Sexual Minorities. Journal of Japan Society of Nursing Research. 2022; 45(1):93–104.

https://www.istage.ist.go.jp/article/jjsnr/45/1/45_20210908146/pdf/-char/ja

- 現場の医療従事者の大部分は
継続的な臨床でのトレーニングを積んだことがない

Kanakubo Y, et al. Development and validation of the Japanese version of the Lesbian, Gay, Bisexual, and Transgender Development of Clinical Skills Scale. PLoS One. 2024 Mar 27;19(3):e0298574.

<https://journals.plos.org/plosone/article?id=10.1371/journal.pone.0298574>

医療者がとるべきコミュニケーション

- 基本的な言葉づかい
 - 妻、夫、彼氏、彼女 → パートナー、配偶者、おうちの人
 - 母、父 → 両親、保護者、おうちの人
 - くん、ちゃん → さん、または呼んで欲しい表現を聞く
- トランス男性は男性です。トランス女性は女性です。
「元男」「元女」などはNG
- 相手のセクシュアリティを決めつけない。
悪気がないからOKではない。

LGBTQフレンドリーな医療機関の実装

- ①上層部・管理職がリーダーシップを発揮し、積極的に取り組もう
- ②LGBTQの人々に配慮した医療機関の方針を明示しよう
- ③LGBTQの人々が訪れやすい空間となるよう工夫しよう
- ④書類や問診票にも配慮しよう
- ⑤すべてのスタッフが、LGBTQに配慮したコミュニケーションやケアに関する職員研修を受けるようにしよう
- ⑥患者のSOGIの多様性を尊重しよう
- ⑦性についての病歴聴取は包括的に実施しよう
- ⑧LGBTQのニーズに応えるようなケアとサービスを提供しよう
- ⑨LGBTQのスタッフを採用し、雇用し続けよう
- ⑩地域のLGBTQコミュニティにアウトリーチしよう

アライであることを可視化する

- すべての人が使うことができるトイレのマークを掲示する
- 介護者と被介護者の性別が異なる場合などでも使いやすい



こちらからダウンロードできます
<https://www.nijiroidoctors.com/products>

アライであることを可視化する

- LGBTQフレンドリーな絵本やポスターを待合室に置く
- レインボーフラッグを受付に置く
- LGBTQフレンドリーな医療機関になるよう取り組んでいる旨を掲示する



アライであることを可視化する

• Ally表明医師マップ

<https://www.healthcare.novartis.co.jp/medicalallynetwork/allymap>



感染症科	先生	社会福祉法人太陽 会安房地域医療セ ンター	〒294-0014 千葉県館山市山本 1155	LGBTQ+の職員研修 無	地図で確認する
家庭医診療科	金久保祐介 先生	亀田ファミリーク リニック館山	〒294-0051 千葉県館山市正木 4304-9	LGBTQ+の職員研修 有 小児対応可 思春期対応可	地図で確認する
家庭医診療科	先生	亀田ファミリーク リニック館山	〒294-0051 千葉県館山市正木 4304-9	LGBTQ+の職員研修 有 小児対応可 思春期対応可	地図で確認する
家庭医診療科	先生	亀田ファミリーク リニック館山	〒294-0051 千葉県館山市正木 4304番地9	LGBTQ+の職員研修 有 小児対応可 思春期対応可	地図で確認する

